

教師の質を保証する国家政策：韓国の場合

キム・ハンイン

(韓国 京仁教育大学校 教授)

はじめに

韓国の教育システムは6-3-3-4年制に基づいている。中学校水準における義務教育は1985年より農村部で実施されてきたが、2002年にはようやく国全体に拡大された。最近では、教員養成改革 (teacher education reform) が韓国の教育では話題となっている。韓国政府は教師の能力を高めるために教員養成政策を変えようと試みてきた。韓国において教師は比較的自由時間の多い、安定した職業だとされている。全ての教師の定年は62歳と長く、多くの若い人達に人気がある。教師になる方法は、校種によって若干異なる。ほとんどの小学校教師は国内10カ所にある教育大学で養成されている。中学校教師は、教育大学、総合大学の教育学部、総合大学における教員養成コース、そして大学院教育研究科といった、いくつかの区分で養成されている。教師は地方当局によって雇用されている。教員養成機関を卒業し、教員免許を取得した後に教師になるためには、教師候補者は首都、または地方の教育委員会が行う教員採用試験に合格しなければならない。教師になるには競争が激しく、実際、多くの教員養成機関出身者が教員採用試験に落ちる傾向がある。

教師の専門的知識は、学生 (児童生徒) とその親の満足度と相関関係にあると政府は信じている。そのため、教師の専門的能力を高めるため、学生 (児童生徒) とその両親の参加のもと、政府は国家教員評価を行った。その教員評価には学生、その両親、同僚教師、校長などが参加している。

教育業績の国家評価 (NAEA)

韓国政府は学生 (児童生徒) の学力達成度をNAEAでも特に強調し、その評価結果を一般公開した。NAEAの結果によると、低学力の学生が特に多い学校は「学力向上のための創造的管理学校 (creative management schools)」に質された。政府は、全学生が基礎学力基準を満たすため、教育実習生のいる特定の学校にたいして、教育の援助、特別補習講義、そして教材などの支援を行っている。NAEAの目的は4つに分けられる。すなわち、1) 小・中・高生の学力到達度と傾向の体系的かつ科学的な診断、2) 学生によるカリキュラムの教育目標達成度と、教室レベルで実践されるカリキュラムの問題点を分析することにより、カリキュラム向上のための参照データの提供、3) 教育方法と学習方法の改善、評価項目や達成度と背景要因の関係を分析し、学習奨励政策を策定に使用するデータの提供、そして、4) より新しく適正な評価方法を開発・公布することで、各学校がより良い評価方法を使うように導くこと。

教員評価

韓国教育科学技術部（MEST）は全国的な教員評価を実施している。教員組合と教師団体は政府政策に反対しようとした。しかし、保護者の声を含む一般世論は教師の反抗を自分勝手だと批判し、政府政策を支持した。結局、教師達は評価が一般公開されないというMESTの約束を受け、評価政策を受け入れた。

評価の後、評価の良かった教師は各人の専門的知識を高めるために国内外の大学での個人研究や教育を受けるチャンスを与えられた一方、評価の低かった教師は彼らのニーズに合わせた研修を受けることとなった。現在、1年間のサバティカル期間を利用した50名の教師達が京仁教育大学校において教員研修を受けている。彼らは個人研究を行いながら、大学に通い、大学院の授業を受けている。

専門知識を持っている教師は、後に一般公募による校長採用システム（open principal recruitment system）によって学校を先導する役職（校長職）を得る事ができる。また、彼らはマスター教師—卓越した専門性を有した教師に与えられる称号—に指名されることもある。これらの教師は同僚（他教師）の相談役になったり、効果的な教育方法を開発・普及したりする。

教師の昇進

2011年の「教師教育の開発」（Development of Teacher Education, 2011）と2004年の「教師の昇進のための政策」（Policy for Teacher Promotion, 2004）は、階級的かつ年功序列的な昇進制度から教師の能力ベースの昇進制度への変更のために教育科学技術部（MEST）によって実施された。校長へ昇進するために必要な最低年数は教員生活25年から20年に引き下げられた。加えて、校長職は教頭（副校長）だけではなく、能力を有する教師、または一般公募による教師以外の人に開かれた。

教員としての役職は教師、教頭（副校長）、そして校長に分けられる。多くの教師達は学校管理者になろうと昇進の努力をする。教師の昇進は競争率が激しく、教師としての継続年数、業績、研究成果、そして様々な教育活動による追加点など、多様な評価をもとに昇進が決定される。

その他の質問事項

- 他の国も韓国における教育の変化のような教員養成改革を経験しているのか？
- 教員評価政策による利益と不利益は何か？
- 教員評価政策は教員養成にどのような影響があるのか？